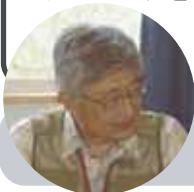
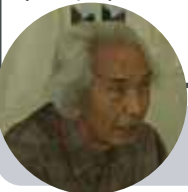


○インスペクターからのコメント(55回)

今日の、木を切って水の出る量が増えたのだらうという話も勉強になりました。この調子で、地道な進め方で続けていきましょう。工事が進むと、因果関係のあることが出てきます。それをみんなで原因を探りながら、いい道づくりをしましょう。

岡村
インスペクター

植栽を見て感じましたが自然のスピードというのはゆっくりです。今年こうなるという前提の考えでは、物事はすすみませんし、実際そうはならない。舗装や音の問題にしても、問題点の議論だけでなく、もっと大きな効果と合わせて全体を考慮して進めましょう。

大竹
インスペクター

施工がすすんで、それに対してどういう影響が出ているのか、実際にどういう効果が必要でそのため何をする必要があるのかを整理して、期待する効果が得られる事をやりましょう。総合的に考えて、よりよいものをつくれるよう議論していきましょう。

藤田
インスペクター

環境や人間への配慮については、生態系という大きな部分を小さな部分とどうつなげていくか、私達の間でもっと共有して人に伝えていけたら良いと思います。舗装などの小さな部分の決定も、全体的、数年先を考えて選択出来るよう知恵を出し合ひましょう。

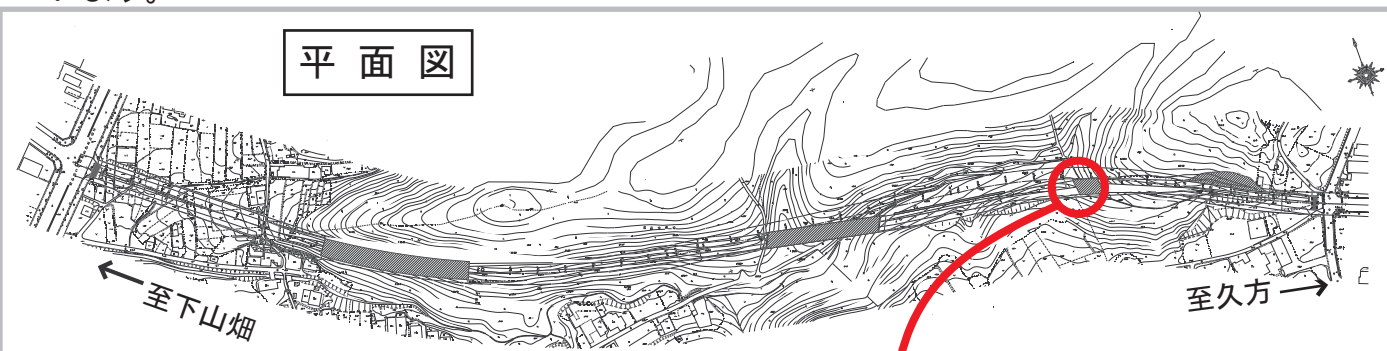
長谷川
インスペクター

工事のお知らせ

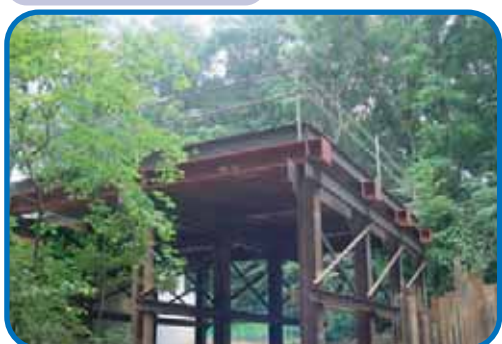
弥富相生山線の現在の状況について、お知らせします。

2号橋の橋台を施工するにあたり、仮栈橋の設置が完了し、橋台のコンクリート打設を行っています。

平面図

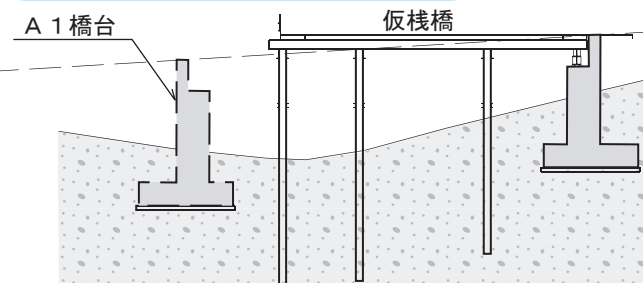


仮栈橋の設置



連絡先
株式会社 共立
TEL 052-354-7477
FAX 052-354-7496

橋台のコンクリート打設



問い合わせ先

名古屋市 緑政土木局 道路部 道路建設課内 「環境に配慮した道づくり」施工ワーキング事務局
〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
電話：052-972-2864 FAX：052-972-4168
<http://www.city.nagoya.jp/shisei/jigyokeikaku/douro/kankyo/>

「環境に配慮した道づくり」施工ワーキングだより 第41号

施工ワーキングのススメ



●第55回施工ワーキング

平成21年5月24日(日)に第55回施工ワーキングを開催し、28名が参加しました。

今回は、参加メンバー全員で現地の状況を確認して歩きました。また舗装についての学びの時間を設け、舗装の種類や技術について学びました。

第55回 プログラム

1. 前回の確認
2. 施工報告
3. 現場確認
4. 弥富相生山線の舗装を考えよう!(その1)
5. グループ活動
6. ヒメボタル調査の速報

現場確認

Point.1

施工箇所からシェルター構造上部への移植状況

移植した
ヒイラギ



施工箇所からシェルター構造上部へ

橋台の施工範囲に生育する樹木がシェルター構造上部に移植されていることを確認しました。移植したのは、ヒサカキ、ヒイラギです。

Point.2

施工箇所(2号橋の橋台及び仮栈橋)の確認

いつもは施工ワーキング小屋の中で図や写真で確認する施工状況の報告を、実際の施工現場で確認し、大きさや周辺環境との関係を改めて認識しました。



動物グループ
エコトンネルの
出入口について
話し合いました

ワーキング小屋

施工グループ
現状の騒音を計測しました

植物グループ

交通グループ

施工現場

Point.3 今後の検討に向けて...

エコトンネルの現状把握

南側の出入口

北側の出入口

切土法面の植生回復

植生回復が必要な
切土法面の現状を
確認しました

